



ISHIDA TAMMI

さあ、お茶にしましょう



KITAMURA MARIKO



NOGUCHI KEN

TSURI MITSUHO



お茶の 愉しみ展

2024.6.14 fri - 7.28 sun

10:00~18:00(入館は17:30まで) 入場無料

休館日:月曜日 ※7月15日(月祝)は開館し、翌16日(火)は休館

市立伊丹ミュージアム 展示室6

ITAMI City Museum of Art, History and Culture

主催:市立伊丹ミュージアム[伊丹ミュージアム運営共同事業体/伊丹市]



MASUHARA KAORI

IROHARA MASAKI



KADOTA AYANE

お茶の 愉しみ展

2024.6.14 fri - 7.28 sun



石田彩《硝子冷茶碗「Tea ceremony」》



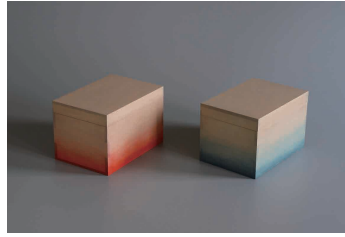
色原昌希《刻黒茶壺》



門田綾音《数物「かさ音色」》



北里美絵子《コースター》



北村真梨子《茶箱(朱漆)、茶箱(藍漆)》



小林じゅん《遊山箱(秋)》



田中雅文《彩泥四重茶碗「JEWEL」》



釣光穂《カップ》



中島完《茶箱一式》



名雪園代《茶則「ひとひら」》



野口健《乾漆線紋花入「Swaying Vessel 42」》



増原嘉央理《紅白鮮金彩水指 斜陽、紅白鮮金彩茶盤 斜陽》撮影久保佳正 所蔵緑ヶ丘美術館 ※参考作品



松本由衣《曲げ輪丸盆「夜空」》



三野直子《振出》

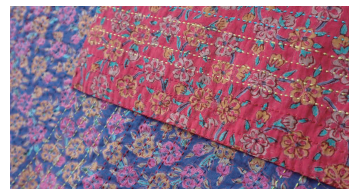


やまこしかずよ《壁掛け》

ようやく気軽にお茶を楽しむことができるようになりました。あの日々はいったい何だったのかと人々が忘れてしまいうるほど、不自由だった月日は過去のものとして去っていったように思われます。しかし、親しい人々との「お茶の時間」のありがたさ、素晴らしさを私たちは身をもって体感しました。

本展では、「お茶」をテーマに現代工芸作家15名の作品をご紹介します。陶、漆、ガラス、染織、木工など様々なジャンルの作家によるお茶にまつわる道具たちです。日本茶や中国茶などの茶器の他に、盆や菓子器、花器なども広く出品いたします。

とびきり素敵なお茶の時間を愉しみましょう。そんな場を演出する道具の数々です。気軽に、でも気合を入れて。お茶を味わい、道具を愛で、親しい人と素敵なひとときを愉しみましょう。※出品作品は一部を除いて購入が可能です。



特別出品: NIMAI NITAI
インドの小さな村の女性たちに雇用を生み出し、手仕事の布製品を制作するブランドNIMAI NITAI。今回特別に古帛紗などの素敵な布小物を出品いたします。

お茶の愉しみ展開連イベント ※詳細はウェブサイトをご確認ください。

■ 出品作家によるギャラリートーク

日時: 6月15日(土) 14:00-15:00

会場: 展示室6

参加費: 無料(申込不要)

登壇予定: 田中雅文、名雪園代、野口健、松本由衣

■ 子ども向けワークショップ

「い草織りコースターをつくろう」

日時: 7月7日(日)

① 10:30-12:30

② 14:00-16:00

会場: 展示室6前ロビー

参加費: 1,000円(材料費込)

対象: 小学生以上(小学3年生以下は要保護者同伴)

定員: 各回6名(要事前申込)

講師: 門田綾音(本展出品染織作家)

※申込は6月5日(水) 10:00からお電話にて受付(072-772-5959)

— お茶を愉しもう! 郷町O店 —

■ 紅茶とアジアスイーツ〜ラフエイジアと紅茶喫茶2cups〜

日時: 6月15日(土) 11:00-16:00

■ 煎茶とおむすび〜お茶のみどり園とtakefumi saito〜

日時: 6月23日(日) 11:00-16:00

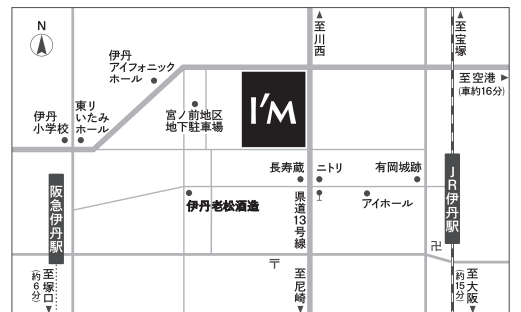
■ 煎茶・抹茶・中国茶の講座と喫茶〜お茶のみどり園〜

日時: 7月13日(土)・14日(日)・15日(月祝) 11:00-17:00

※要事前申込

会場: 市立伊丹ミュージアム

旧石橋家住宅 1階カウンター、縁側



I'M 市立伊丹ミュージアム
Itami City Museum of Art, History and Culture

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

TEL: 072-772-5959(代表) FAX: 072-772-5558

<https://itami-im.jp/>

阪急伊丹駅より北東へ徒歩約9分

JR伊丹駅より北西へ徒歩約6分

※専用駐車場はありません。

宮ノ前地区地下駐車場(有料)をご利用ください。

同時開催

特別展「季節を愛でる — 俳諧と茶の湯」
所蔵企画展「泉茂 1950s 陽はまた昇る」

